

川崎スポーツ



FI

6月3日(月)4日(火)5日(水)

日本盛かちわり生原酒杯・デイリースポーツ杯争奪戦

戦力に差は無く激戦ムード

6月3日から開催される川崎競輪は日本盛デイリースポーツ杯として行われる。ガールズケイリンも含めた12レース制のナイターF1戦。

S級戦では地元優勝卓也(神奈川84期)が登場する。近況は差し脚のキレが戻ってきており、宇都宮G3を含め4連続優出中。近藤隆司(千葉90期)と好連係を決めるか、今の伸びながら中団以内があれば十分にVを狙えるデキ。他に東日本からは鈴木庸之(新潟92期)が参戦。欠場明けなので状態次第だが、何でもこなせる自在性には魅力。神山拓弥(栃木91期)や守沢太志(秋田96期)からも直線伸びる当地では怖い存在。遠征勢は力付けている佐々木豪(愛媛109期)と浜田浩司(愛媛81期)の愛媛コンビ、中井俊亮(奈良103期)の動き次第では中近勢の台頭も十分にある。

A級戦は絶対的な存在は無く各地区にチャンスがある。久保将史(神奈川95期)、佐藤和典(神奈川70期)らの地元勢に期待したい。

ガールズケイリンは実力者が揃って大激戦。Gプレーヤー鈴木美教(静岡112期)をはじめ、競走得点が50点を上回る選手が半数以上を占めるレベルの高い開催となる。

S級主力選手

近藤 隆司
千葉90期



パワフルな自力勝負でファンを魅了し続けている近藤隆司。G1の優出も過去に2度経験しており、S級やトップクラスが揃うレースでも「何かしてくれそう」という期待感がある選手だ。もちろん、F1では優勝候補となるのは言うまでもない。近況の状態を聞くと「脇本雄太君のもの凄く強さを

佐々木 豪

愛媛109期



183センチと恵まれた体格の佐々木豪が若手ひしめく四国地区の新たな戦力として力を付けている。カマシ、まくり、抑え先行を使い分けてトップクラス相手に善戦する場面も増えた。昨年いわき平で開催されたオールスターでG1デビュー。その時は場の雰囲気飲まれたものもあるが大敗続きで撃沈。しかし現在は「だいぶグレードレースの雰囲気には慣れてきました」と言う通り結果を出し始めている。4月の松戸タービンは勝ち上がりにも敗れたものの、5走して2連対。日に日に感じは良くなっていったけど、最後は疲れも出てきて、良い勉強にはなりました」と。今年のスタートは落車に泣かされたが、その後は徐々に競走得点も上昇。まくりの決まり手も増えたが仕掛けは早めでバックを取るまくりが多い。今シリーズは西日本を中心として連日フル回転で挑む。

村田 雅一

兵庫90期



いまG1出場の常連となりつつある村田雅が川崎へ行くに登場。ここ3年で二気に頭角を現してきた。結果を出しつつあった数年前に実績ある同僚の松岡健介(兵庫87期)が「あいつの凄いやつ」と語っていたのが印象的で、努力が実り30代になってからのブレイク。持ち味は瞬発力を生かしたキレ鋭い差し脚。多少苦しい位置からでも突き進むので、直線が伸びるこのバンク向きと言え。久々の川崎バンクについては「あまり回数走ってないけど、自分には向いてそうですよね。力ある中井俊亮君も居るから一緒に決勝に乗れたらチャンスあるかも」と話していた。前回落車の影響次第だが、優勝候補の一人として注目したい。

久保 将史

神奈川95期

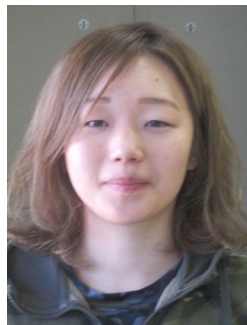


地元ホームバンクの久保将史が当地を連覇を目指す。持ち味は強力な地脚を生かした自力勝負で、自分のバッテリーに持ち込めば簡単にはまくられない

し、差されない。近年は持病の腰痛に悩まされて不安定な状況が続いているが、好調を維持できればまだまだS級復帰も狙える実力は十分だ。当地は約半年ぶりの登場で、昨年11月のF2戦で優勝を決めている。準決勝で森川康輔(岐阜111期)と長井妙樹(東京96期)も振り切り逃げて1成(千葉100期)も振り切り逃げて1成(神奈川107期)の逃げに乗って1番人気に応えるVゴール。突出した機動力が少なく今シリーズなら、久保が持ち前のパワーを発揮して優勝決める可能性は十分にある。

ガールズ主力選手

鈴木 美教
静岡112期



ガールズケイリンは高い競走得点の選手が揃い、レベルの高い開催となりそうだが、南関東地区を代表する存在となろう

URBAN BANK
かわさきケイリン

x	◎	▲	○	予想氏	名				
守	中	近	村	神	浜	注	勝	予	氏
沢	井	藤	田	山	田	鈴	勝	想	名
太	俊	隆	雅	拓	浩	木	勝	氏	氏
志	介	司	一	弥	司	庸	卓	近	近
						之	也	近	近
								成	成
								績	績
秋田	奈良	千葉	兵庫	栃木	愛媛	新潟	愛媛	神奈川	府県
96	103	90	90	91	81	92	109	84	期別
S1	S1	S1	S2	S1	S1	S1	S1	S1	級別
2回	8回	12回	6回	4回	4回	1回	10回	4回	1着
2回	8回	1回	6回	4回	4回	4回	8回	5回	2着
3回	3回	6回	3回	5回	1回	2回	1回	2回	3着
16回	17回	17回	14回	19回	12回	4回	12回	17回	着外
0回	0回	0回	1回	1回	1回	0回	0回	0回	棄権
0回	0回	0回	1回	1回	0回	0回	0回	0回	失格
23回	36回	36回	31回	33回	23回	11回	31回	28回	出走数
8.60%	22.20%	33.30%	19.30%	12.10%	17.30%	9.00%	32.20%	14.20%	勝率
17.30%	44.40%	36.10%	38.70%	24.20%	34.70%	45.40%	58.00%	32.10%	連対率
30.40%	52.70%	52.70%	48.30%	39.30%	39.10%	63.60%	61.20%	39.20%	3連対率
0回	15回	7回	0回	1回	0回	3回	6回	0回	H数
0回	12回	7回	0回	0回	0回	3回	13回	0回	B数
108.69	107.05	108.47	109.51	108.56	107.09	111.90	109.19	107.71	競走得点



たGプレーヤー鈴木美教に注目した。昨年7月のデビュー戦を完全優勝で飾ると、経験を積むことに上位陣との差を詰めて存在感を増していた。昨年8月にはファン投票でアルティメット賞に選出されてそれに応える走りでも着目。目標とする地元GPOP出場が視界に入る。11月競輪祭までの激しいアップでGPOPを乗り越え、賞金ラッシュ6位でGPOP出場をデビュー2年目で果たした。競輪場で初めてのGPOP開催に花を添えた。結果は7着と大敗したが、南関東のレジャーと大敗したのが、南関東区への川崎出走前には「川崎は昨年の外国人選手との対戦で失格してしまっただけでも、最近はずり上がってきているので頑張りたいです」と語る。現在は賞金ランキンで苦しい位置に居るが、後半戦の巻き返しに向けて弾みを付けていく。

決勝想定メンバー